

令和7年度学群編入学試験

生命環境学群地球学類

学 力 検 査

(専門科目)

問 題 冊 子

注意事項

- ① 問題Ⅰ～Ⅳの全問題について解答すること。
- ② 解答用紙は各問題に対して1枚使用し、それぞれの解答用紙には「問題Ⅰ」のように問題番号を明記すること。
- ③ 解答が書ききれない場合には、「裏へ」と明記して、その解答用紙の裏面に続けて書くこと。
- ④ 試験時間は120分です。

問題 I 下の図 1 は、火山の噴火によって想定される火砕流の到達予想範囲と避難所の場所を示している。この図を参考に、火山災害に対処するために必要な防災対策について述べなさい。

(この部分は、著作権の都合上、公開できません)

図 1 火山災害に関する防災地図の例 (浅間山南斜面)
(高阪 (2000) より作成)

問題 II 仮に、太陽から地球に与えられる日射量が現在より減少した場合、地球上の水循環はどのようになると考えられるか述べなさい。

問題 III プレート沈み込み帯において付加体はどのようにして発達するのか、以下の語句をすべて用いて説明しなさい。用いた語句には下線を引くこと。

語句 [衝上断層、序列外スラスト、底づけ、デコルマン、デュプレックス、剥ぎ取り]

問題 IV 縞状鉄鉱床の成因について、以下の語句をすべて用いて説明しなさい。用いた語句には下線を引くこと。

語句 [アルゴマ型、火山岩、原生代、酸素、スペリオル型、太古代]